

留学報告書

記入日： 2020年6月9日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	情報環境学部
学科・学系／専攻	情報環境学科

留学先情報	
大学・機関名	フェアモント州立大学 (Fairmont State University)
国名	アメリカ合衆国
留学先での所属・専攻・身分	所属 (学部等) : コンピュータサイエンス 専攻 : コンピュータサイエンス 在籍身分 : 編入(Transfer) 学部1年生

留学準備	
事前語学学習方法	英語指導 (山村先生) IELTS 問題集 英検問題集
準備で苦労したこと	入学条件を満たすために IELTS, 英検, TOEIC を複数回受験したこと. 各種書類の作成・依頼 (資金計画書, 英文成績証明書, 英文健康診断書).
ビザの種類	F1
申請先	アメリカ大使館
提出書類	パスポート, 証明写真, I-20, SEVIS 費用支払証明, 財政証明
申請費用	17,600 円 (ビザ申請料) + 38,765 円 (SEVIS 費用)
申込手順	DS-160 オンライン申請書の作成→面接予約→大使館にて面接→郵送にて受取り
ビザ取得所要日数	13 日 (申請完了日より) 3 日 (面接日より)
大使館等での面接	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→聞かれた質問: 留学先の州名, 大学名, 就業目的でないかどうか
他に留学に必要な準備	英文成績証明書, 資金証明書, MMR ワクチン証明書 パスポート, 英語検定証明書 (TOEIC, IELTS) 大学入学手続き書類, 寮の申し込み, 保険申し込み

現地到着後	
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

	有→ <input checked="" type="checkbox"/> 大学関係者 <input type="checkbox"/> その他 () 無→空港から大学までどのように移動しましたか？ <input type="checkbox"/> 電車・地下鉄 <input type="checkbox"/> バス・トラム <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ()
オリエンテーションの有無／時期／内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 時期：8月12日～18日 内容：学校案内ツアー，入学セレモニー，レクリエーション
渡航後必要な手続き	学生証の作成 (パスポート) チェックイン (パスポート，ビザ，I-94，保険証のコピー)
大学の雰囲気	学生数はあまり多くないが，キャンパスは人数に対して広く自然に囲まれている．冬は寒く積雪も多い．学校から歩いていける範囲には食料品や日用品を買い物できる店があまりないが，毎週金曜日に大型ショッピングセンターへのシャトルバスが出ている．

生活について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 (寮名) : University Terrace <input type="checkbox"/> アパート／ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の場所	<input checked="" type="checkbox"/> キャンパス内 <input type="checkbox"/> キャンパス外 キャンパスまでの距離： <input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車・地下鉄 <input type="checkbox"/> その他 () で約 分
部屋の種類／同居人	<input type="checkbox"/> 1人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 2人部屋 その他 同居人： <input type="checkbox"/> 有 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> その他 (コンビニ)
食事	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 寮食 <input checked="" type="checkbox"/> 大学内学食 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()
ミールプランへの加入	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→加入したプラン (The Ultimate 210回／1セメスター)
住居について注意事項	冷蔵庫・電子レンジは申請すれば部屋に借りることができる．
銀行開設	<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> しなかった 銀行名：
生活費等支払い手段	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード <input type="checkbox"/> 海外専用プリペイドカード (キャッシュパスポート等)

	<input type="checkbox"/> その他 () アドバイス：クレジットカードは複数枚持つことを推奨。 JCB は使えない場合もあるのでそれ以外のブランドのカードも持っていた方がよい。
携帯電話	<input type="checkbox"/> 購入した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
現地での友人等との連絡手段	<input checked="" type="checkbox"/> LINE <input checked="" type="checkbox"/> Facebook <input checked="" type="checkbox"/> WhatsApp <input type="checkbox"/> Gmail <input type="checkbox"/> iMessage <input type="checkbox"/> その他 ()
病気や怪我等での通院	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有→ <input type="checkbox"/> 大学内のクリニック <input type="checkbox"/> 最寄りの医療機関 <input type="checkbox"/> その他 ()
医療関係の注意事項等	特にありません。
授業について	
授業期間	2019年 秋学期： 8月19日～12月6日 2020年 春学期： 1月13日～5月8日
履修登録	<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 時期：8月頃, 11月頃 方法： <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> 志願書類に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 国際オフィス等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (アドバイザーの先生と面談)
履修した科目名	(2019年秋学期) ESLG 0061 Intermediate Academic Reading ESLG 0062 Intermediate Composition ESLG 0063 Intermediate Speak & Listening ESLG 0064 Intermediate Grammar Studies ESLG 0071 Advanced Academic Reading ESLG 0072 Advanced Composition ESLG 0073 Advanced Speak & Listening ESLG 0074 Advanced Grammar Studies (2020年春学期) COMP 1130 Principles of Programming II COMP 2270 Data Structures COMP 3330 Analysis of Algorithms MATH 1199 SPTP: Mathematical Modeling
授業・履修に関する注意事項	専門科目を履修する際にはアドバイザーの先生との面談が必要なので、あらかじめ先生の名前を把握し、自分でアポを取ることが必要。

費用について			
項目	詳細	費用	支払方法
渡航費		¥248,280	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
ビザ申請料		¥56,051	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
住居費		¥990,792	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
学費		¥1,651,745	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
教材費		¥90,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
保険料		¥138,280	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
食費		¥600,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
日用品		¥60,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
総額 (概算)		¥3,835,148	

※以下、行数は文章量に合わせて調整してください。

留学のきっかけ

留学を決めたきっかけは1年次に学長賞を受賞できたこと、そしてそれを機に「神山治貴海外留学派遣奨学金」の存在を知ったことです。高校時代に英語が不得意だったこともあり、大学入学後は何らかの形で英語学習や国際交流に取り組んでいきたいと考えていました。1年次には国際センター主催の語学研修講座に参加させていただき、英語を学びたいという気持ちがより強くなりました。2年次の初めに学長賞を受賞できたと知り、さらに宍戸先生から奨学金の説明を聞いたことで1年間の海外留学を検討し始めました。

留学の目的

今回は私にとって初めての留学だったため、異文化を体験するということが大きな目的でした。留学先のフェアモント州立大学は全体の学生数が少ないこともあり、日本人留学生がほとんどいないと聞いていたので、アメリカの文化を知ることができる良い環境だと思い申請しました。学生寮での暮らしや学食での食事などを通して、アメリカの学生が送っている日常生活に触れて、日本との違いを学びたいと考えていました。また、日本では知ることのできないネイティブの英語の使い方や物事に対する考え方も授業などを通して知りたいということも1つの目的でした。

留学生活（学習面）

留学して最初の半期（秋学期）は他の留学生とともにESLの授業を受講しました。授業はReading, Composition, Listening & Speaking, Grammarの4つで、難易度は難しすぎるということはありませんでしたが、日本にいたるときとは違った視点から学習を行うことができ、とても興味深いものでした。受講生は7人と多くはありませんでしたが国際色豊かで、グループワークの中でもそれぞれの国の文化や言語について学ぶ機会を得ることができています。授業ではディスカッションや積極的な発言を重視しており、先生の質問に1人1人答える機会や1つの問題に対して3人から4人のグループで相談するような機会が多く設けられていました。最初のころは思うように意見が言えないことが多かったのですが、授業を重ねるごとにより詳細に表現できるようになっていきました。授業で取り扱われた題材は食事や住宅、SNSなど身近なものが多く、日常的に使える単語や表現を学ぶことができました。学期の途中で先生が交代するなどイレギュラーなこともありましたが、ネイティブの先生から英語を学ぶことのできるととても貴重な機会でした。

後期（春学期）は専門科目としてコンピュータサイエンスの授業を3つ、そして数学の授業を1つ受講しました。それまで現地の学生と一緒に授業を受けていなかったためはじめは緊張していました。また、コンピュータサイエンスの3つの授業で使用したプログラミング言語はいずれもC++で、私が今までに学習したことが無いものということ

もありそれも1つの心配事でした。授業が始まると課題やテスト勉強の量が秋学期に比べて格段に増え、忙しくもありましたが同時に勉学に思いきり取り組める充実感も感じました。授業は基本的に座学で課題も個人で行うことが義務付けられていたため、他の学生と協力して学習に取り組む機会はあまり多くなかったのですが、授業を通して現地学生の積極的な姿勢を見て学ぶことができました。

私の受けた授業の中で最も有意義だと感じたのは **Data Structure** という講義のプログラミング課題でした。学期を通して3つの課題が出題されたのですが、この課題はただプログラムを書いて提出すればよいというものではなく、提出後に担当教授の前でデモを行う必要がありました。デモを行うということで自分の書いたプログラムを英語で詳しく説明すること、またその内容を深く理解することが求められました。1対1の面談形式で行われたためとても緊張しましたが、先生が親切に対応してくださり、自分の意見やプログラムの問題点について納得するまで話し合うことができました。この経験は私にとって大きな自信となりました。

春学期の後半は新型コロナウイルスの影響により、日本に帰国し遠隔で受講を続けました。-13時間という時差や授業形態の大幅な変更により戸惑うことも多かったです。無事にすべてのカリキュラムを終えることができました。対面の授業を最後まで受けることはできませんでしたが、留学期間中に学習した内容、環境、習慣は私にとって貴重な経験となりました。

留学生活（生活面等）

留学中の生活では留学生との交流と長期休み期間の旅行が大きく心に残っています。アメリカの空港に到着後すぐに合流したのが、韓国人の女子学生2人と日本人の女子学生1人でした。そのうちの1人の韓国人学生は寮が同じということもあり、大学に着いてからの入学手続きや日用品の買い出しなど一緒に行こうとこまめに連絡をくれていました。生活が始まってすぐの頃は、慣れない環境で緊張していたこともあり他の留学生とも積極的に話をするのができなかったのですが、その友達のおかげで留学生生活を順調にスタートさせることができました。また、彼女は英語での会話がとても流暢で、現地の学生や先生方とも冗談を交えながら楽しそうに会話をしており、私の英会話の目標でもありました。秋学期は **ESL** を受講していたということもあり、留学生との交流が多く様々な国の文化を知ることができました。普段の食事の様子や部屋での生活など日常の何気ない様子からもそれぞれの国の違いを感じることができ、日々新たなことを発見できる生活がとても楽しかったです。

もう1つの思い出は長期休みの旅行です。留学中に行った旅行の中で最も印象的だったのは、**Thanksgiving** に **Washington D.C.** に一人旅に行ったことです。**Washington D.C.** はアメリカの首都として知られていますが、その中心部はホワイトハウスや国会議事堂をはじめとする政府機関や多くの美術館・博物館、そしてチャイナタウン周辺の繁華街が

集まっており、アメリカの歴史・文化・食を一度に堪能できる素敵な街でした。約8日間の旅の中でホテルのチェックイン方法やレストランでのお会計の仕方、地下鉄の乗り方など様々な体験ができました。また、分からないことがあった時には自分で調べ、街の人に聞いて解決したり、同じホテルに泊まっていた観光客の方と一緒に朝食を食べたりと、一人旅ならではの大変さや面白みを知ることができました。

留学を通して得たもの

この留学を通してコミュニケーションの楽しさ、難しさ、重要さを改めて知ることができました。東京電機大学では情報環境学部のコミュニケーション工学コースの学生としてコミュニケーションに関する授業を受けてきましたが、留学中に様々な国の人と話すことで新たな気づきを得ることができました。留学が始まった頃は自分の気持ちをうまく表現することができず、もどかしい思いをすることが多かったです。授業や留学生ミーティングに参加するときも「何か質問されて答えられなかったらどうしよう」という不安をいつも抱えていました。また、英語の単語選びによって日本語では同じ意味でも相手に与える印象が違うこともあり、言葉選びにもとても慎重になっていました。そんな中、授業でディスカッションをする機会が増え、だんだんと自分の意見を伝えることや相手に質問を投げかけることができるようになっていきました。自分で「話せている」と思えるようになると、自分から誰かに声をかけることにあまりハードルを感じなくなりました。また話をする機会が増えていけばいくほど、コミュニケーションを取ることが楽しくなり生活に充実感を得ることができました。

日本にいるときは基本的に日本語しか話していなかったため、言葉が通じなかったり気持ちを表現できなかったりというような辛さは感じたことがありませんでした。しかし留学当初の経験から、如何に自分の生活の中で話をするということが重要な役割をしていたかということも改めて実感することができました。今は新型コロナウイルスの影響で、直接人と会って会話をすることが少なくなっていますが、今後対面で人と対話ができるようになったときは、自分から積極的に話をしてコミュニケーションの中で人とのつながりを深くしていきたいと思えます。

今後の学習計画

今は修士1年として研究活動や授業に取り組んでいます。研究では、留学中に学んだプログラミングの知識を活かして、語学学習者が日常会話を習得できる会話システム的设计・評価を行いたいと考えています。具体的には、研究室で長く研究されてきた「話速変換会話システム」を用いて、発話内容を理解しやすくすることで学習の補助をおこなえるシステムを作りたいと思っています。

留学で身に着いた英語能力を試すために TOEIC, IELTS の受験をしたいと考えています。

留学を考える方へメッセージ

「自分は英語が苦手だから」と留学に行くということに不安を持っている方も多いと思います。私も留学に行く前は授業についていけるか、周りの人とうまく話せるかとても心配でした。しかし、今は留学に行ったことが自分にとって有意義な経験だったと感じています。留学は自分の力を試し、自分自身の弱み・強みを知る大きなチャンスです。きっとその経験を通して学んだことは自分の視野を広げ、価値観を豊かにすると思います。留学を考える皆さんを応援しています。